

薬学部 薬学科

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学科は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。

- 豊かな人間性を持ち、社会環境の変化を捉えて、医療人としてのあるべき姿を常に模索しつつ、自己研鑽を重ねる薬剤師としての心構え
- 薬剤師に求められる社会のニーズに常に対応し、人々の生活に積極的に関わると共に、その活動を通じて見出した課題に取り組むことで、医療の発展に貢献する態度
- 社会や科学に対する教養を基盤とし、健康や医療に関する幅広い知識と技能を備え、薬の専門家として臨床現場での問題に対応できる能力
- 薬剤師としての基本的能力に加え、医療栄養、高度地域医療、法医薬学、もしくは最先端医療の分野において、高い専門性を獲得し、それを社会に活かす能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の醸成のため、「基本科目」、「関連科目」、「専門科目」を配置し、体系的なカリキュラムを編成しています。

- 幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目 I 群」と、体験型学習を組み込んだ演習・実習科目からなる「専門科目」により、医療人である薬剤師としての心構えと態度を、学生の内面から引き出す教育を行います。その評価は、ポートフォリオへの学習成果物の蓄積と長期型ルーブリックによる自己評価、および採点用ルーブリックを積極的に利用した教員による形成的評価により行い、学生の気づきを促します。
- 薬剤師に求められる基本的な知識と技能を身につけるため、基礎から臨床に至る「専門科目」を講義・演習・実習科目に分け、効率的かつ効果的に編成しています。その評価は、評価基準に基づいて厳格に行い、グレードポイントアベレージ（GPA）を含め、学生自身にフィードバックします。
- 薬剤師としての高い専門性を獲得するため、「栄養・薬学アドバンストコース」に加え、「アドバンスト地域医療」、「アドバンスト医療薬学」、「アドバンスト医療栄養学」、および「アドバンスト法医薬実務」の選択必修科目を設定しています。「関連科目 II 群」と「専門科目」を組み合わせることで学ぶことにより、より深い専門性を獲得していきます。その評価は、学生自身によるリフレクションと採点用ルーブリックの利用により行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬学科では、城西大学の建学の精神と薬学科の教育研究上の目的を理解するとともに、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 医療人としての薬剤師のあるべき姿を考え、自己研鑽と社会活動に取り組む意欲を持つ人。
- 体験型学習を含む薬学での学びに取り組む上で必要な、他者を理解し自己を表現するコミュニケーション能力を持つ人。
- 薬学を学ぶ上で必要な基礎科目について学習経験を有し、それを基に専門性を獲得していこうという意欲を持つ人。

高等学校での履修が望ましい教科・科目： 英語、国語、数学、化学、生物、物理

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 薬学科の教育研究上の目的に相応しい人材を多面的に評価・審査します。
- 薬学を学ぶ上で必要な教科（英語、数学、理科）の理解度を評価・審査します。
- 学力試験では測ることができない能力や意欲は、高校在学時あるいはこれまでの活動状況から評価・審査します。

（2022年4月入学者用）